

第16回 エレクトロニクス基礎研究所公開シンポジウム  
原子・分子レベルでの材料創製とキャラクタリゼーション  
「次世代ソフトマテリアルを考える」

主催：大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所

本公開シンポジウムは原子・分子レベルで制御した材料創製とキャラクタリゼーション手法に関する最近の研究成果を議論することにより、研究の一層の発展を促すとともに、若手研究者の研究推進の一助に資することを目的として毎年一回開催されております。

本年は「次世代ソフトマテリアルを考える」を主題に本学の研究と関連が深いテーマを選び、企画いたしました。皆様方にお越しいただき活発な議論を行っていただくことを期待しております。

日時：2008年12月12日（金） 10:10～17:15

場所：大阪電気通信大学 J号館(エデュケーションセンター)小ホール  
寝屋川市初町18-8 電話 072-824-1131(代表)  
(京阪電鉄 寝屋川市駅より東南700m : <http://www.osakac.ac.jp> 参照)

ープログラムー

1. 10:10～10:15 主催者挨拶 エレクトロニクス基礎研究所所長 越川孝範
  2. 10:15～11:05 『多糖類を用いたカーボンナノチューブの分散技術の開発とその応用』  
大阪府立大学 北村進一
  3. 11:05～11:55 『再生セルロースナノネットワークの構造と機能』  
東京大学 空閑重則
- 《11:55～13:15 昼食・休憩 1時間20分》
4. 13:15～14:05 『多糖とイオン液体からのコンポジット材料の創製』  
鹿児島大学 門川淳一
  5. 14:05～14:55 『高速走査プローブ顕微鏡を用いたタンパク質分子の動的観察』  
金沢大学 安藤敏夫
- 《14:55～15:10 休憩 15分》
6. 15:10～16:00 『ボトムアップ構造制御されたナノカーボン・ポリマー複合化薄膜を用いた抗血栓性医療機器の開発』  
東邦大学 長谷部光泉
  7. 16:00～16:50 『生体膜におけるコレステロールの役割』  
(財)高輝度光科学研究センター 八田一郎
  8. 16:50～17:15 『X線散乱法から見た多糖類のナノ構造』  
大阪電気通信大学 湯口宜明
- 《17:30～19:30 懇親会(学内 新学生ホールにて)》

協賛

応用物理学会・関西支部、日本表面科学会・関西支部、日本真空協会・関西支部、  
日本化学会、高分子学会、セルロース学会、日本応用糖質科学会、繊維学会、  
日本バイオマテリアル学会

問い合わせ先 : 572-8530 寝屋川市初町 18-8

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 事務室

Tel: 072-824-1131(ext.2588) Fax: 072-820-9010

E-mail: [feri@isc.osakac.ac.jp](mailto:feri@isc.osakac.ac.jp)

ホームページ : <http://www.osakac.ac.jp/feri/>